

最近の管内経済概況

(2023年10月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年12月18日

照会先：経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L：011-709-2311 内線 2525

E-mail：bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L：https://www.hkd.meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2023年12月現在)

発表月	2023年7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u> (↗)	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
個人消費	持ち直している	持ち直している	<u>緩やかに改善している</u> (↗)	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	
観光	緩やかに改善している	<u>改善している</u> (↗)	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加した	増加した	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	増加した	増加した	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	<u>弱い動きとなっている</u> (↘)	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも増加した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

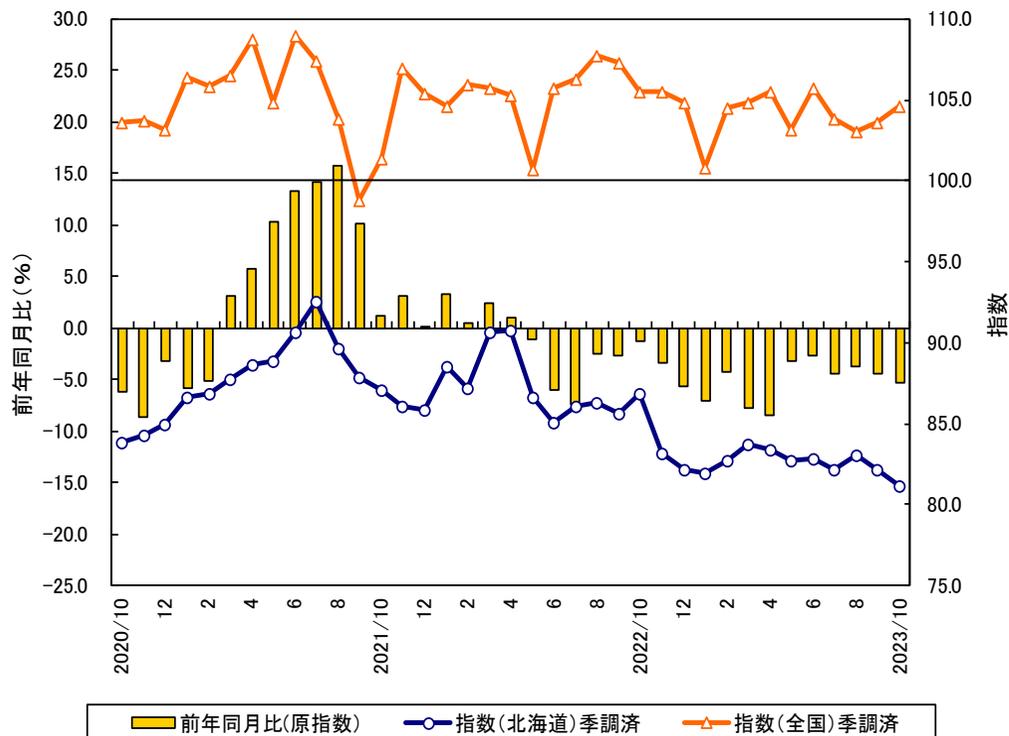
生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

10月の鉱工業生産は、前月比▲1.2%と2か月連続で低下した。前年同月比は▲5.3%と18か月連続で低下した。低下業種は、一般機械工業など9業種となった。上昇業種は、電気機械工業など6業種となった。

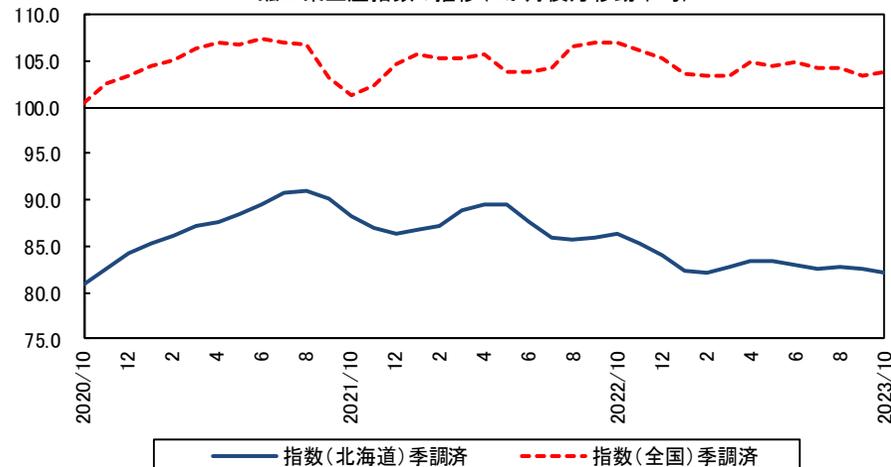
<10月>
 季節調整済指数
 北海道(速報) 81.2(前月比▲1.2%)
 全国(速報) 104.6(前月比+1.0%)

	業種	前月比(%)	前年同月比(%)	主な品目
低下 9業種	一般機械工業	▲15.4	▲23.2	一般機械
	窯業・土石製品工業	▲12.5	▲14.0	セメント・同製品
	輸送機械工業	▲5.1	+9.9	自動車部品
上昇 6業種	電気機械工業	+7.3	+11.3	電子部品

鉱工業生産指数(2015年=100.0) ※全国は2020年基準



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)



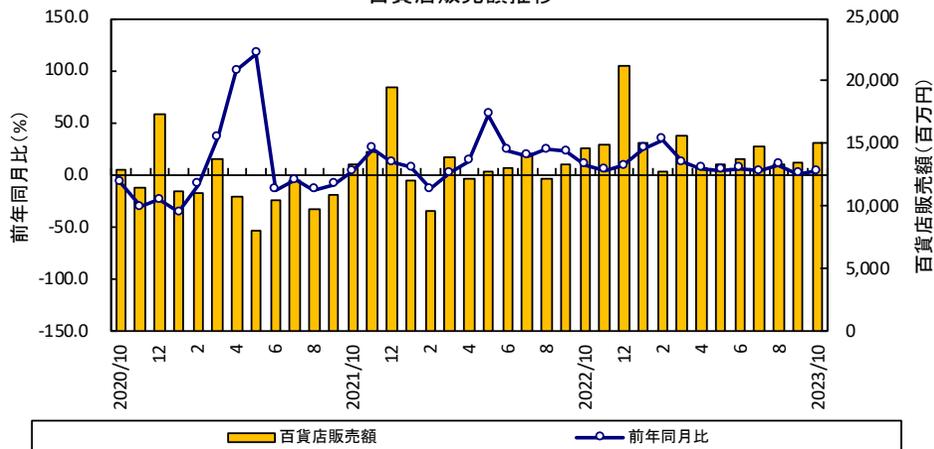
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

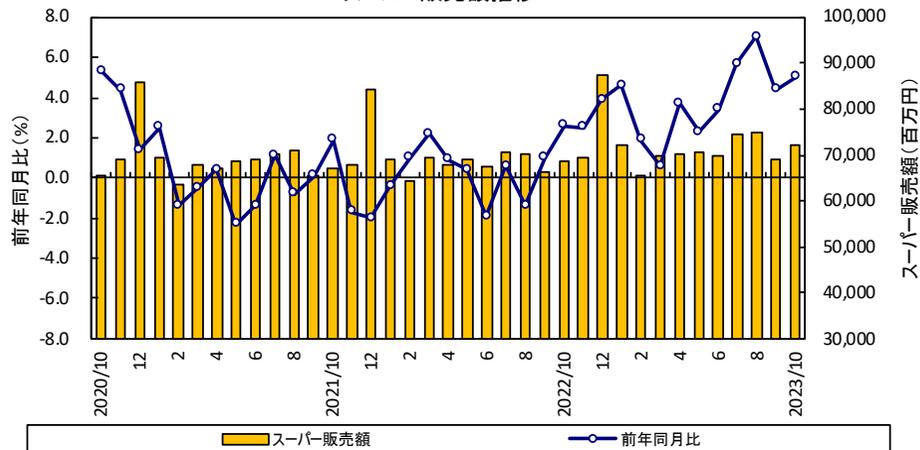
10月の個人消費は、ホームセンターが前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- 百貨店は、衣料品などの売上げが好調で、前年同月比+3.4%と20か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、値上げの影響もあり飲食料品の売上げが増加し、同+5.0%と14か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+5.2%と24か月連続で前年を上回った。

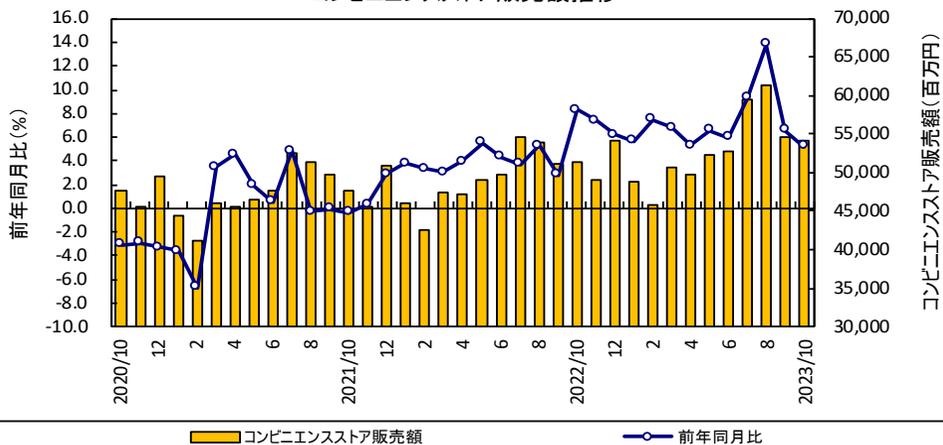
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

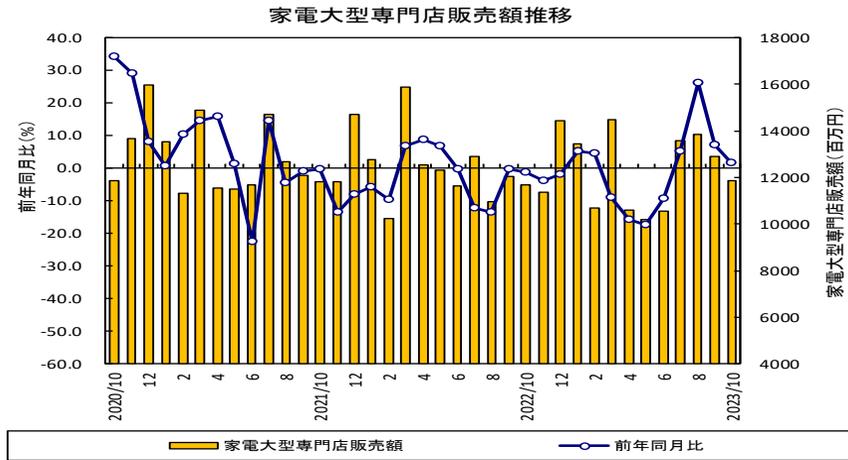


【ヒアリング内容】

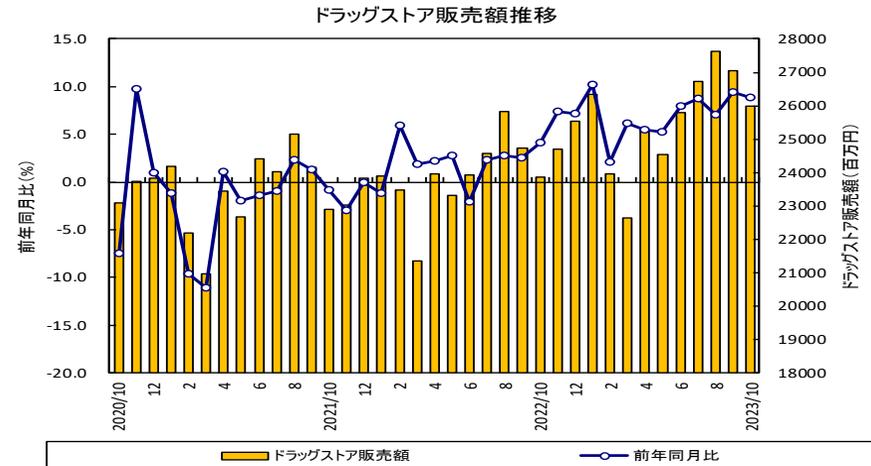
- 中旬以降、朝晩の冷え込みが強まるにつれて、これまで動きが鈍かったコートなどの冬物衣料がよく売れた。飲食料品では、手土産需要としてのお菓子の売上げが引き続き良かったほか、食料品の催事も好調だった。(百貨店)
- 客数は前年を下回ったが、客単価、売上げともに前年を上回る月が続いている。相場高の豚肉から他の割安な肉類への移行がみられたほか、特売日の売上げも好調で、節約志向が続いている。(スーパー)
- 値上げの影響で客単価、売上げともに前年を上回る月が続いている。比較的高単価でも消費者が満足できるような商品は売上げが前年を上回る一方で、節約志向を背景に、価格競争となる商品もあり、消費の二極化が続いている。消費者が許容できる値上げ範囲の見極めが、より難しくなっている。(コンビニエンスストア)

(資料：北海道経済産業局)

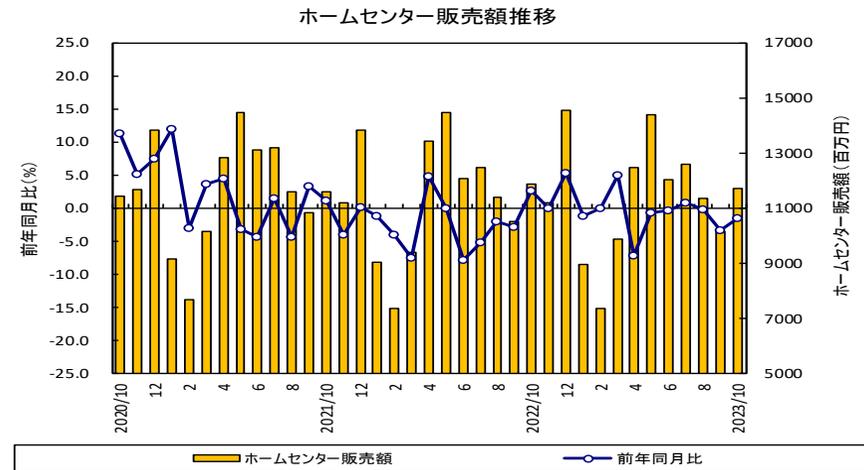
- ・家電大型専門店は、同+1.8%と4か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+8.9%と16か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲1.5%と3か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+12.1%と3か月連続で前年を上回った。



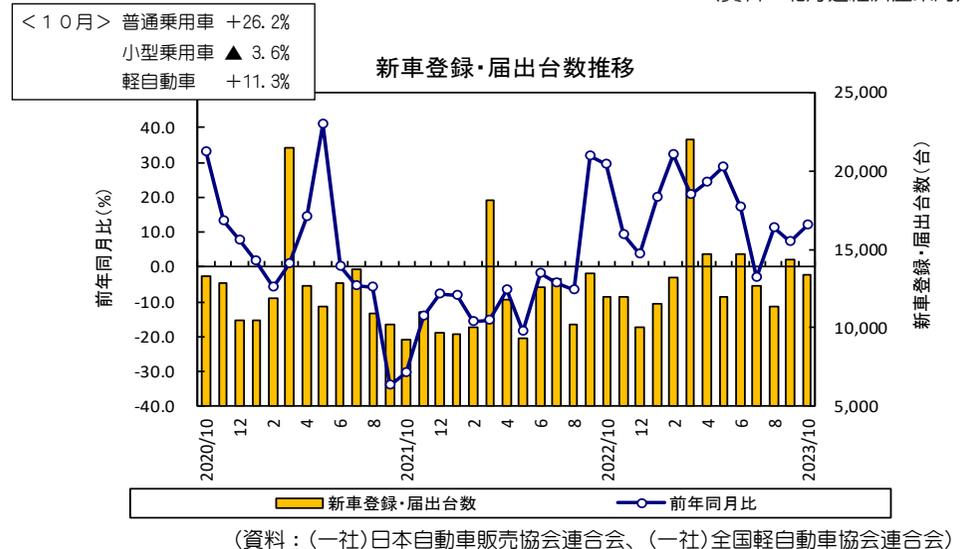
(資料：北海道経済産業局)



(資料：北海道経済産業局)



(資料：北海道経済産業局)



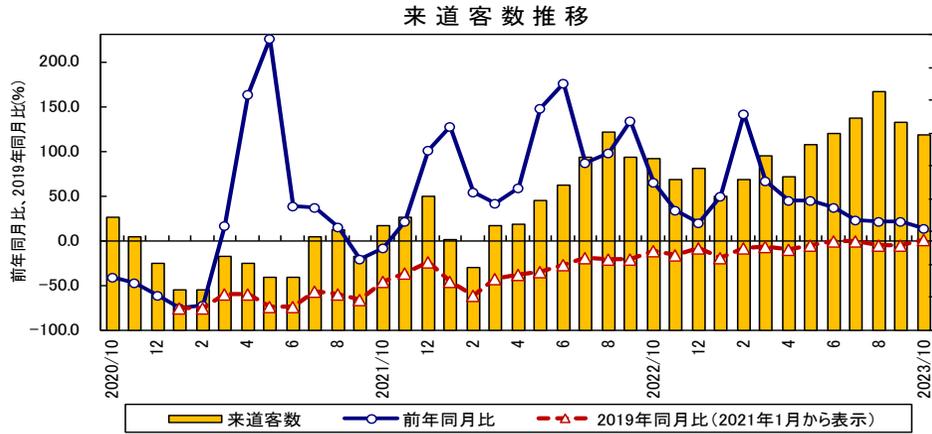
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・エアコンの売上げが引き続き好調で、寒冷地用エアコンのほか、通常タイプのものが良く売れており、来夏も見据えた動きが続いている。(家電大型専門店)
- ・風邪薬の売上げが大きく伸びている。インフルエンザの流行時期が例年よりも早まっている影響から予防的に買う動きもあるようだ。インバウンドの売上げは引き続き好調で、前月に続いてコロナ禍前を超える売上げとなっている。(ドラッグストア)
- ・コロナ禍で好調だった、DIY関連用品の売上げが落ち着いてきている。また、10月は日本海側を中心に雨の降る日が多かったことから、木材や外での作業時に使用する軍手などの売上げが良くなかった。(ホームセンター)

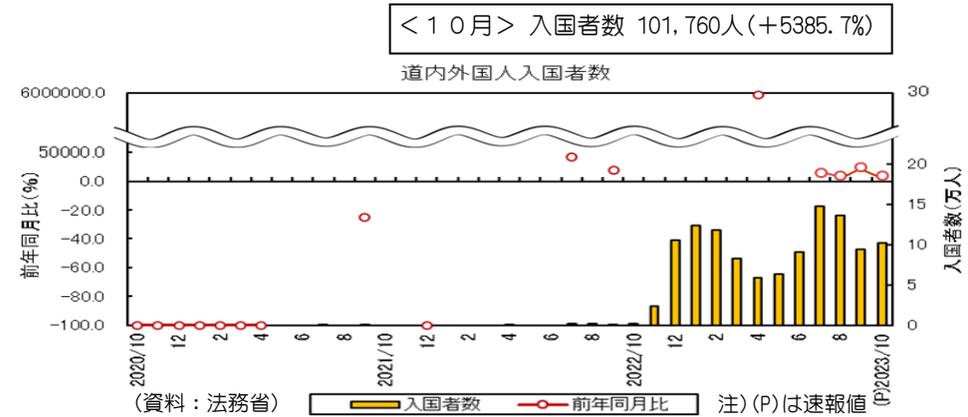
観光 ～ 改善している ～

10月の来道客数は、前年同月比+13.8%（2019年同月比+0.9%）と24か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、101,760人（前年同月差+99,905人）であった。



< 10月 > 来道客数 1,188,018人 (+13.8%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

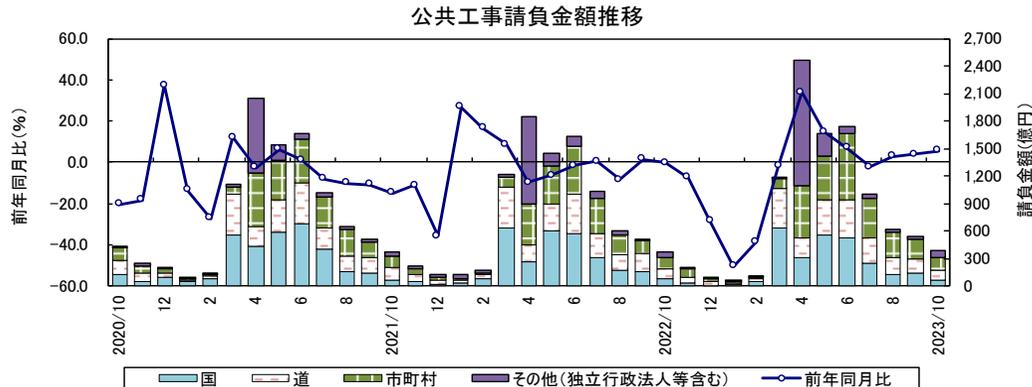


【ヒアリング内容】

- ・10月は、夏の猛暑の影響もあり紅葉の見頃が例年より遅かったが、道外観光客や外国人観光客の入り込みは良く、宿泊者数は前年より良かった。また、観光案内所には、東アジア以外にもタイやシンガポールなど東南アジアからの観光客も多くみられた。
- ・11月は、前月と比べ観光客の入り込みは落ち着いており、週末は満室となる宿泊施設が多いものの、平日はそれほどでもない印象である。（観光協会）

公共工事 ～ 増加した ～

10月の公共工事請負金額は、国、道は前年を下回ったが、市町村は前年を上回り、前年同月比+5.5%と3か月連続で前年を上回った。



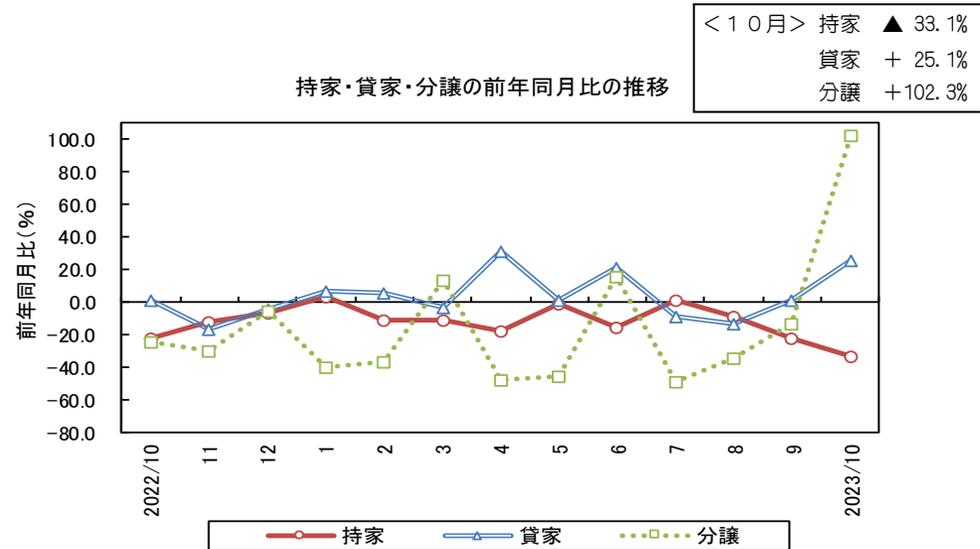
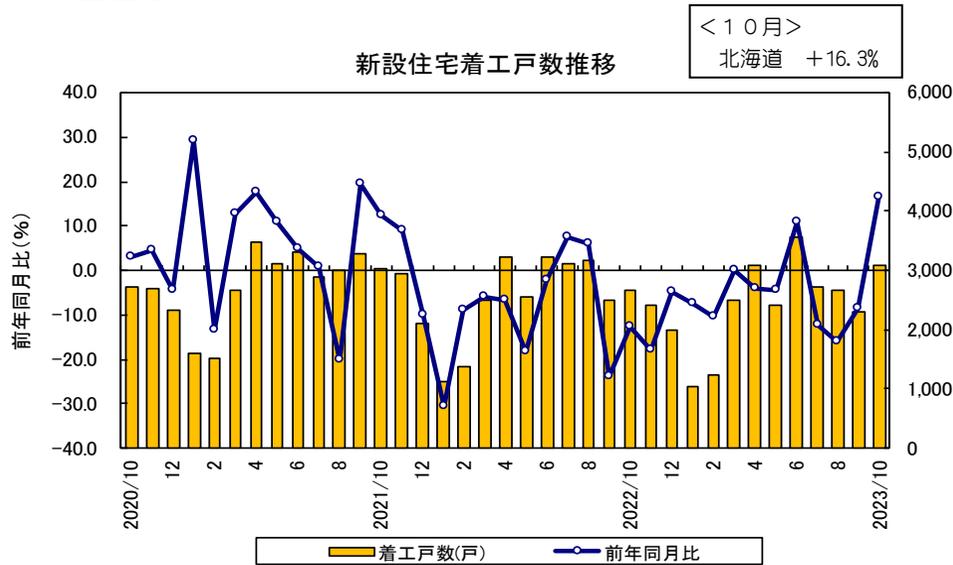
< 10月 >
 北海道 + 5.5%
 (内訳)
 国 ▲ 5.5% 道 ▲ 3.2% 市町村 +16.8% その他 +10.9%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

10月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家、分譲は前年を上回り、前年同月比+16.3%と4か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+0.8%と2年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2023年10月2日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 11.3%	+ 0.8%
製造業	+ 25.6%	+ 24.8%
非製造業	+ 6.8%	▲ 7.9%
全国	+ 9.2%	+ 13.0%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年9月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 11.4%
製造業	+ 34.7%	+ 13.9%
非製造業	+ 24.0%	▲ 17.9%

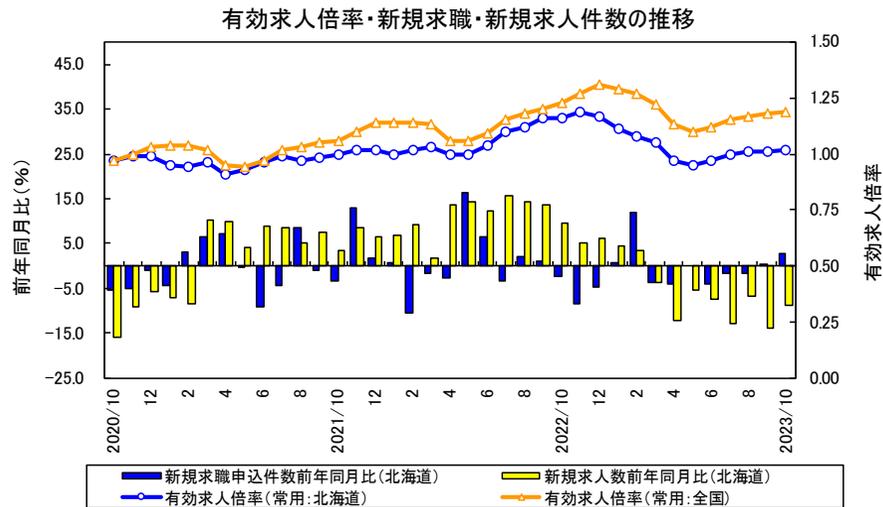
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

10月の有効求人倍率は、1.02倍と前年同月差0.14ポイント低下し、7か月連続で前年を下回った。

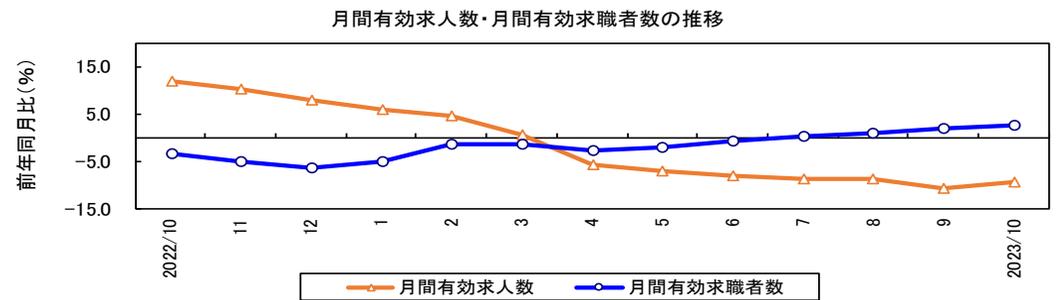


< 10月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	1.02倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲ 8.9%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+ 2.8%
全国	有効求人倍率(常用)	1.19倍

< 10月 >

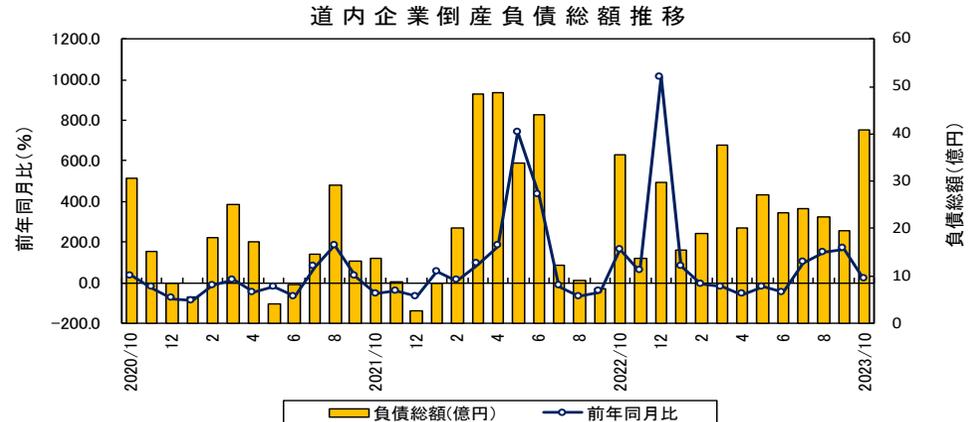
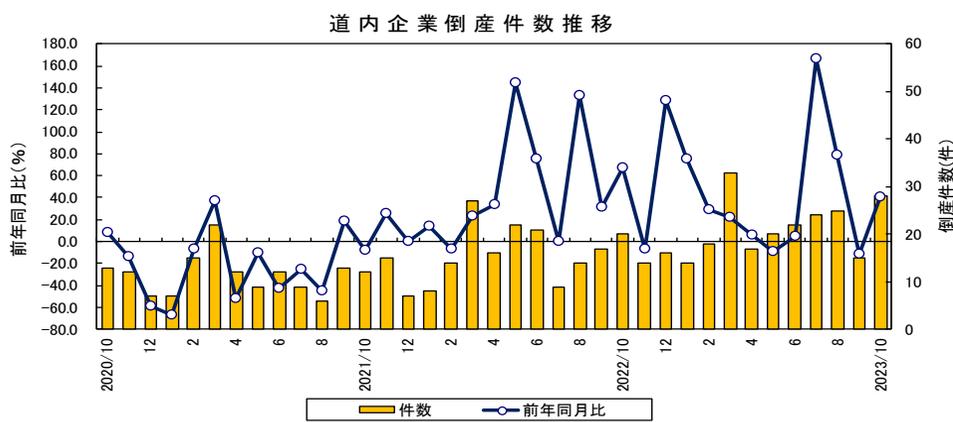
月間有効求人件数(前年同月比)	▲ 9.4%
月間有効求職者数(前年同月比)	+ 2.8%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

10月の倒産件数は28件で、前年同月比+40.0% (8件増) と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は41億円で、同+15.2%と4か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)